

あなたの声を町政に

十人が一般質問（質問順）

一般質問では、十人の議員が登壇し、公民館活動、おでかけタクシーなどについて質問しました。

今回も、一時間以内での一問一答方式で行いました。

問

「親学」^{おやがく}研修会を強力に推進せよ

答 本町でも推進している



片山元八郎議員

三和地区親子平和学習



Q 明星大学の高橋教授は「親学」の基本例で「しっかりと抱き、下に降ろし、歩かせろ。」具体例「授乳時に携帯電話などもつてのほか。」子どもは大人に甘え、依存し、自立への発達段階に応じた係わり方が重要と説く。

また、新聞によれば、PTAの会合で、女性校長曰く「雑巾くらいスー

パーで買わず、自分で縫って渡して」母親反論「そんなものにこだわるのは親の見栄」会合参加の母親全員この反論に賛成の拍手。本町でも記事のような実態があるのか。

A 教育長 「親学」は推進している。最近では、神奈川

県から講師を招き、子育て支援講演会を開催。本

来の対象者である保護者の参加が少ないのが課題。十一月にも神石中で、家庭教育力の向上を目指す講演会がある。手づくり雑巾だが、町内のある学校の調査では、手縫い六割、百円ショップ等の購入四割。この善し悪しの判断はできない。

Q

新聞記事に「先生に無理難題、理不尽な親急増」とあり、親への対応に疲れ、精神性疾患の休職者激増とあるが、本町の実情はどうか。

A

教育長 本町でも無理難題を言う保護者はいるが、少ない。休職教員は二名。保護者対応が原因ではない。



3世代交流ゲートボール (東油木)

問 油木高校生の思いへの支援は

答 自立可能な農林業で

Q 去る八月二十五日「油木高校を育てる会議」が開催され、その一部に産業ビジネス科女生徒による意見発表があった。

高い高齢化率・農業従事者の高齢化・耕作放棄地の激増等の実態を数値にあげ、それら厳しい地域農業の問題を自らの問題として取り組む姿勢が

示された。私は将来を担う若人が落胆して逃避するような神石高原町であってはならないと願う一人である。

発表をどう受け止め、若者定住・担い手育成のために、若者ニーズへの対応をどう考えるか。

A 町長 まさに本町の農業問題を真摯に捉え、地元



小林 貢議員

のまちをどう考えるか、素晴らしい発表であったし、産業ビジネス科の教育が正常で適切にできていると思った。

本町の現状は生産基盤・財政状況も極めて問題がある。実情把握をしっかりとしたいが、是正には農林業で自立可能な形態が必要だ。農林業のモデル構想

を担当課で検討中である。

併せて、和牛改良センター跡地利用と連動する和牛の里再構築プロジェクトをつくって、新たな計画に油木高校生等若者に参入して頂きたいし、その指導もお願したい。

その事は、産業ビジネス科の定着、ひいては油木高校の存続を訴える最終的なものになるかと思う。

問 公民館長に正職員を

答 事務職員の配置の方向

Q 町長の行政課題の柱である「三つの過剰」のうち①過剰職員について。

合併前の町村では、職員削減策として「臨時化」「嘱託化」を進めてきたが、過剰職員の中では逆に臨時職、嘱託職を減ら

し正職員で対応し、経費削減に努めるべきだ。

公民館再編案が示されているが、公民館長に正職員を配置すると、公民館の立て直し、充実、経費削減となるが、人事権をもつ町長の考えは、



瀬尾 征爾議員

A 町長 館長より、事務職員配置の方向性で検討している。議会でもたまたま台として協議して頂きたい。

Q ②過剰債務（借金）について。

住民一人あたり百七十二万円は、県下一番であるが、町村の借金は社会基盤整備のために、国の赤字国債とは本質が異なる。

住民要望が山積し、その実現には財政運営上借金はやむを得ない。借りられるものは借り、町の活力源とすべきでは。

A 町長 借金ゼロにしたら建設計画の実現、住民要望に応えられない。ご指

摘の線していきたい。

Q ③過剰施設について。

水道施設管理が直営、地元と一貫せず平準化されていないが。

A 町長 合併時のバラツキをそのまま踏襲している。平準化しなければならず、早い時点で検討したい。



まちづくり大放談会

問 今後の財政について

答 見通しは厳しい

Q 交付税の見直しなどにより、人口減少率の高い自治体の、歳入の見通しは。

A 町長 歳入は、一段と厳しくなる。新型交付税の場合、県の試算によると五億から十億円の減額が予想される。歳入増のためには、依

存財源の交付税・補助金の減額をしないことを、国・県に強く要望し、自主財源である税と使用料の値

上げは、考えていない。

Q 老朽化する施設設備の維持、耐震調査による校舎の補強改築、また、高齢化・災害・交通・県立病院地元移管の問題で、歳出は増加すると予

想される。それらの対策は。

A 町長 歳出の増額は、免れないと思っている。

今後、必要な物、不必要な物を考え、不必要なものについては、処分も検討していく。県立病院は、私としては、厳しい財政であるが



丸山達夫議員

町が移管を受け、適当な医療機関に経営を委託する方向で協議する。

Q 今後の自治振興会への補助金は。

A 町長 自治振興会は、行政とのパイプ、窓口であるため、現状維持で、削減する気持ちはない。

問 おでかけタクシーの問題点は

答 改善に向け検討する

Q おでかけタクシーは利用者から不便だと聞く。予約時間の変動、目的地まで遠回りになる、急用の場合対応できない、隔日運行等の問題、制度の変更は考えているのか。

A 町長 運行協議会でも同じ

ような意見を聞いています。制度に賛否両論あり、試行段階なので改善の方法を検討する。業者側と利用者の意見を聞き、見直す。タクシー制度の変更は考えていない。

Q 十月よりバス永野循環線が廃止予定でしたが、保護者の要望が汲

み取られ一年延長になった。廃止説明が二週間前だったが遅いのではないのか。

A 町長 中国バスとの協議が全く遅かった。今後はこういうことのないようにする。

Q 公務員の関係する飲酒運転が後を絶たない。職員の飲酒運転に対する処分基準は。

A 町長 国の基準に準じているが、今後は厳罰化の方向にする。飲酒運転しただけで、停職か免職にする。飲酒運転をさせないような啓発をする。

Q こばたけ保育所は施設が老朽化し、教室や廊下が雨漏りしている。県道バイパスの計画があり、グラウンドも買収される。この際、改築か、新築移転の考えは。

A 町長 遊戯室の雨漏りは修繕完了予定。他の雨漏り箇所は原因を調査し修繕したい。改築は考えていない。



牧地区民運動会



おでかけタクシー



久保田龍泉議員

問 広島牛改良センター跡地利用とアクセス道の改良を

答 神石高原和牛の里再構築を検討

Q 平成二十年四月、県より地元移管の広島牛改良センターの受け入れ態勢は。

また、アクセスの県道芳井油木線は、油木中学校もあり県へ改良を要請しては。

A 町長
まだ詰めた協議はしていないが、土地・施設は本町に移管される。跡



畜産共進会 子牛の部1区優秀賞

地利用については、六月にプロジェクト推進本部を設立し、地元肉用牛改良組合と全農を入れて検討中で、十月末には方向性を出す。将来像としては、神石高原和牛の里再構築を図り繁殖牛を主体に基礎牛の安定供給の基地としたい。あわせて観光資源の開発も視野に入れている。

Q 道路は移管のときの条件として出していきたい。

A 町長
学校給食の副食食材も地元産でまかなえないか。また、町内商店で、地元農産物販売促進をすべきでは。

Q 学校給食は安定供給の面で困難性があるが、季節・時期を限定してで

A 町長
市販に頼っているが、自校調理場では地元産物使用校もあり、増やす方向で進める。食育の推進では来年度より栄養教諭による食に関する指導と給食管理に取り組む。



赤木健二議員

も対応できるように努めます。

A 教育長
市販に頼っているが、自校調理場では地元産物使用校もあり、増やす方向で進める。食育の推進では来年度より栄養教諭による食に関する指導と給食管理に取り組む。

問 公債費比率の改善は

答 将来的には一八%を目標に

Q 本町の実質公債費比率は一九・八%で、借金しようと思えば、県との協議が必要となる。

そして適性化計画を県に提出しなくてはならないが、その内容は。

また、現在の状況を利用りきるためには、住民の理解が必要である。その

方法は、改善に向けての対策は。

A 町長
新しい借金をしなくても、五年間は公債費比率は下がらない。長い期間をかけて改善する。

将来的には、一八%を下回るよう考える。

町広報に、具体的な数字を示し、理解を求め、新型交付税が導入されれば、更に十億円近い減額となるので、交付税の増額を強く求める。

Q お出かけタクシীর見直しにあたっては、事業者、利用者、役場のそれぞれの立場にたって見直すべきだ。

事業者、利用者、役場のそれぞれの立場にたって見直すべきだ。



松本彰夫議員

A 企画課長
利用者の立場では、住民自らにも、共助・自助の精神を持ってもらい、受付時間の延長など利便性を高める。

事業者の立場では、利用実態に即した見直しを行う。

行政の立場では、このサービスが安定的に供給できるように見直す。



広島牛改良センター

問 自治振興会に担当職員を

答 職務命令は出しにくい



佐伯卓師議員

Q 再編が検討されている公民館と、自治振興会の活動は、連携しなければ大きな成果は期待出来ない。地区・地域により活動に大きな差がある。

自治振興会に、余裕の出来ている職員を担当させ、自立した活動が出来るまで支援するべきでは。

A 町長
多くの振興会では職員が自主的に携っている。職務命令としては出しにくい。今後そのように指導していきたい。

Q おでかけタクシーは、予約・運行に利用者の不満が多い、利用者増への対策と、見直しは。

A 町長
また、バス廃止地域の通学等については、今後抜本的に見直すのか。

A 助役
今後のバス運行にも不透明さがあり、中国バスの状況を見ながら、本町の交通体系についても、抜本的に見直しなければならぬ。



高橋公民館 料理教室

問 おでかけタクシーの見直しを

答 三者が納得する見直しをする



木野山孝志議員

Q おでかけタクシーの契約方式の見直しを

A 町長
町・業者・利用者の三者とも満足、納得するように協議・変更する。基本的に見直す。

Q 公民館活動と自治振興会活動はどう位置

A 町長
付けられるのか。

A 教育長
公民館は社会教育施設で、自治振興会の自立や支援に向けて情報設備など施設の充実をはかる。議会等と協議して具体化を図る。

Q 新公債費比率が公表され新規借入れに、

A 町長
負担適正化計画が必要となった。この原因はなにか。

A 町長
長期総合計画、新規事業は予定どおり実行できるのか。

Q 原因は、合併前に国の景気対策としての事業や、多くの合併関連事業

を行ったからである。制約をうけるが、長期的に財政状態が改善するように「集中と選択」を厳格に実施し、事業の吟味を行う。今後は、過疎債・辺地債以外の事業は無理だ。新町建設計画二・四億円の事業の圧縮は五〇〜六〇億を超える可能性が強い。井関住宅団地開発は、新

町の核となる事業だが予算の見直しが必要と思う。町債のほとんどは建設町債で町の発展に繋がっている。全て無駄ではなく先取りをしたものだ。今後に於いては、公債費適正化計画を町広報に掲載し理解を求め、これからは耐乏をお願いしたい。



通学風景 (神石小学校)

問 水源確保は

答 前向きに検討する

Q 命の次に大切な水。地球温暖化、異常気象、文化生活、新規工場、住宅建設等に伴う使用量の増が予想される。また、地下水位の下降等に

より、水源の確保は近い将来必要である。町村合併時の新町建設計画には盛り込まれていない。本町の水源確保対策と

して、新長期総合計画に盛り込む必要があるが町長の考えは、町長

A 水源確保は重要な課題であると認識している。

本町は地形的に、小規模のダムを随所に建設していかなければならない。

併せて、道路改良や、森林整備とセットでの事業展開ができればと考えている。

しかし、極めて厳しい財政状況にあり、合併建設計画も、五〇億から百億の間で、削減・断念せざるをえない状況であり、すぐにはいかないが、前向きに検討する。



小川清治議員



平石池でのブラックバス駆除



前向きに検討する。

おでかけタクシー目的別利用者数

外出目的別実利用者割合

地区	月	実数(人)				割合(%)		
		通院	買い物	その他	合計	通院	買い物	その他
油木地区	6月	58	5	25	88	65.9	5.7	28.4
	7月	94	15	13	122	77.0	12.3	10.7
	小計	152	20	38	210	72.4	9.5	18.1
神石地区	6月	54	6	8	68	79.4	8.8	11.8
	7月	83	8	22	113	73.5	7.1	19.5
	小計	137	14	30	181	75.7	7.7	16.6
豊松地区	6月	19	7	13	39	48.7	17.9	33.3
	7月	28	12	17	57	49.1	21.1	29.8
	小計	47	19	30	96	49.0	19.8	31.3
三和地区	6月	134	7	24	165	81.2	4.2	14.5
	7月	117	14	35	166	70.5	8.4	21.1
	小計	251	21	59	331	75.8	6.3	17.8
合計	6月	265	25	70	360	73.6	6.9	19.4
	7月	322	49	87	458	70.3	10.7	19.0
	合計	587	74	157	818	71.8	9.0	19.2